磐城新聞
（廿五日夕刊）
休刊 大祭 第一 第三日曜
定價 壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵税十錢
廣告料 二行五十錢（指定廿錢増）
發行兼編輯印刷人 遠沼龍輔
福島縣平町田町拾六
發行所 磐城新聞社 電話五六四番

滿鐵通信 （二）

高萩好美

「私探しも見當らないんですもの」今にも泣きそうな樣子であつた
「ジヤ車掌さんに早く言つて探して貰ひなさい」
僕は慰むるつもりで横から口を出した。彼女は早速車掌室の方へ行つた。こんなことから僕等は色々な話をしてゐた。汽車は夜の更けるに從つて南へ走つてゐる。外には蛙の聲がして夏の夜の涼しさを告げてゐる。車中を見渡すと人々は自然の姿で眠つてゐる、然し停車する毎に多少の乘客の爲めざわめくので目を開くが又ウト〳〵と眠る。又アイスクリーム、サイダーを買ふ人もある、こんな風で車中では熟睡は絶對に出來ぬと言つてもよい。

靜岡豊橋も過ぎた濱松を通る頃、東の空が明るみ始めた宵の明星は最後の光を放つてゐる。顔を洗つて乘降臺に涼む黒い幕に包まれた下界が次第に上部の方からボカされて行く樣は實に捨て難い名古屋へは午前五時半頃に着いた。出てゐる筈の友がホームに見出し得なかつたので殘念であつた

隣の二人連の女學生は京都で下車した。この席に代つたのは四十前後、紳士他は三十位の獨り旅らしい鮮人の女であつた。前の若い紳士は神戸で下車した、其紳士の代りに神戸か大阪人らしい其話し振りで知つたんだが五十を過ぎた商人であつた、何かしきりに帳面を檢べてゐた。白砂青松の須磨の海岸も海水浴客のため賑つてゐた日に輝やく姫路城も遠く車窓より眺られ其昔を偲ばれる花筵で有名な岡山城下の水田の一部は其原料である草を植られ、は其收獲に忙しく立働くのも見られた廣島も過ぎて宮島を通つたのは午後五時を二十分過ぎてゐた山は深緑にあの木作の鳥居の水中に浮び出てゐるのは正に一幅の畫である。自分は獨りで見こなくなる迄飽かずに眺め入つた、車中は依然として蒸暑い停車毎にホームへ飛び出すか何か冷たいものを食ねば濟されなくなつてうつた。徳山には海軍石油の貯藏所がある大きなタンクが深山海岸近く並べられある過日見學した新潟沼垂や小倉會社にはない然し原油から精製するのではない單なる貯藏所である我が海軍に一層の顆母しさを感じ

僕は愉快であつた。汽車は海岸邊を走つてゐる奇岩青松、歸帆など旅愁の無聊を慰めてくれる。

午後十時十分下關驛へ着く。乘客は吾れ先にと自分の行くべき所によつて釜山行の汽船に或は門司行の汽船に乘る、僕もこれらの人々に交り釜山行きに乘る時税官に內地產の煙草に許可といふ印をつけた船は連絡線慶福（九三十六百噸）の三等室に落付く內地の旅行はこんな具合に變化のない單純さである。之は生れて以來自分の無意識の中に自分の國の風土に馴れてゐるからであると思ふ。風土の異なる國にあつては見るもの聞く事、り凡てが珍しく面白く感ずることは當然であます。（七、一七車中にて）

俳句

壽山

しと〳〵と降る五月雨や肌寒し
夕立や右往左往の街角
四方の山青葉となりて風薫る
散歩して足にあたるや蛙哉
月はれて森の鳥居の白く見ゆ

和歌

五月雨の降る夜二階に只一人
父の無き身をはるかに思ふ

明日の吉凶 舊暦六月十日 新暦七月二十六日

▲一白 利己主義に流るゝときは人の親しみを失ふ▲二黒 元氣十分なれば萬事通達すべき吉日たり▲三碧 英氣を現す時は不利に陥る守成が寧ろ安全▲四緑 先へ先へと氣早りして跡の始末の付かぬ日▲五黄 氣を大きく持ち清濁併せ呑むの量あるべし▲六白 障碍ありともそれにたゆまず徐々と進むべき日▲七赤 小さく企てし事も生涯の基礎となるべき日▲八白 施しを置きたる德が今日に至り廻り來るべし▲九紫 半ば手中に入りたる物も中途逃げ去ることあり

次回讀物豫告 新作の幕末秘錄

自下本紙に掲載中の講談「闇に閃く男達」は愛讀者各位の白熱的拍手喝采裡に愈々近日中大團圓を告げる事となりましたので本社は次回讀物の撰擇に多大の苦心を拂ひました結果大衆講談の作家として謳はれる渡邊默禪氏作の幕末秘錄「狂怒亂心」を上載する事と致しました、作者が艶麗な筆致と情緒漂ふが如き興味津々たる本篇に對して大なる期待の裡に引き續き御愛讀を乞ふ

大衆講談 幕末秘錄 狂怒亂心

渡邊默禪作

（梗概）……鎌倉二軒茶屋の外人斬殺、御典醫共謀の將軍家毒殺を始めとして幕末に於ける勤王攘夷黨の活躍は目覺ましく中にも水戸浪士が國家を思ふの至誠は白熱點に達し萬難を事ともせず有ゆる危険を冒して志を遂げんとして頻りに暗中飛躍を試むる間には其志を壯として戀する美人あり、我子を勵まさんとして自殺する母あり、後難を恐れず、義擧を助くる義人あり或は貞婦出で幾多の壯烈にして悲慘なる史實は殆んど幕末に於ける一大壯擧であつた。本篇は未だ是迄世に公けにせられざりし幕末秘錄の史實に研究を要する「鬼梶原」を中心としてこれに德川拔刀隊の背景を結びつけて所謂なき時は女よりも優しく小兒よりも仇氣なき彼鬼梶原は銃音を聞き白刃の光を見ると忽ちにして獅子となりデビルとなる。鳥羽伏見の戰には彼鬼梶原は遺憾なく本色を發揮して阿修羅の如く暴れ廻る太刀風に好敵ござんなれと其物凄きこと渡り合ふ者なかりき然るにこの鬼と歌はれ暴れ者と言はるゝ彼には幾多の涙あり情ある情話に滿ち琴唄の戀、棧橋渡らんと……だゆる女は藝者と言はず町娘と言はず色彩多樣にして且つ波瀾萬重所謂幾多の葛藤幾多の波瀾は常に戰塲と相俟ちて戀戀の奮闘を相つゞけ總てがその極に達すや或は發して烈火となり或は滅して哀音となり終いに一念凝つて勤王の及は宿望を遂げ思ひは結ばれて壯烈無比の最後を彩る感興無限の一大秘錄であります。

講談 闇に閃く男達 （149）

髙田涙川作 尾崎雪齋畫

男の中の男

旗本連中は金五郎の言葉を聞いて一層怒り出した
「何ッ！素町人のいらざる差出ぐち、やはり汝等如き町奴風情の指圖を受けるものぢやない、ぐづ〳〵いたしおれば貴樣より先づ無禮討ちにいたすぞ」
市三郎は威高氣となる
「サア町奴、退いた〳〵」
拙者ら素より事を好むにあらねども天下の直參を鼻にかけこの花見の群集の迷惑も思はずあまりの横暴故、それをこらして呉れるのだ、けがせぬ中にのけ〳〵」
九州の武士もなか〳〵引かぬ
「殿樣方、わつちの申すことなら腹も立ちませうが、この大勢の花見の人が頼むと云ふならヨモヤ聞かれぬえことも御座ゐますめえ、サア互に刀をお納め下さいまし」
武士と武士との爭ひの中へ町奴風情のものが仲へ入り治まらぬとは知れてゐれど、諸人の迷惑と思ふと金五郎はどうしても捨てゝはおけぬ、
「エイ、くどい邪魔な奴ぢや、勝平その町人から先、片付けてしまへッ！」
市三郎は奴勝平命じた
「心得ました」
勝平は無法にも眞二つになれと金五郎に打ち込んで來た、金五郎はやつと体を躱し奴の利腕を打つ、ガラリと刀を落す奴も去るものムンヅと組んで來る奴を襟首とつて隅田川目がけてドブン——己れやつこの敵ぞ三人の旗本が斬り込んで來るを右へかわし左へよけそばへよるかと思ふと三人にやつとひとあてあてたから皆ウン——と倒れた九州邊の武士は金五郎の働きに恐れをなしてかいつの間にやら群集の中へ姿をかくしてしまつたこわいもの見たさこれを眺めてゐた大勢の花見客はヤンヤと喝采する金五郎は倒れし三人を茶見世にかづき込み活を入れて其の場を立ち去り父母を伴ふて我家へ歸つた

× ×

「勝平昨日の失敗は如何せしものぢや町やつこ風情におくれをとつたとあつては旗本一同の名折れとなり吾々は面を上げて江戸の町を歩けぬ、あの者は何れの何と申す者ぢや父上に知られぬうち、この仕返しをせねば旗本の面々に顔が合はされぬ」
その翌日服部市之進方で市三郎主馬一郎らが集まり向島失敗の善後策を講じてゐる
「エーイ若樣、何とも申譯も御座いませぬ、町やつこ風情と侮つてかゝつたが勝平の失策アイツは回向院の側にだります、今評判の高い村雨金五郎と申す者でございます」
「ナニあれが村雨金五郎か……」
三人は何樣、強い筈ぢやと思つた相手が村雨金五郎なればとても三人だけでは仕返の仕樣がない、こゝで相談の上同氣相求むる同じ旗本の子息どもを集めその助力を乞ふた血氣にはやる若者共この金五郎を叩き切り旗本の面目を立てねばならぬとその仕度をしてゐる
それを平岡主馬の兄幹之助が知つた、これは石川正春や金五郎と關係の深いことは云ふ迄もないそんなことがあつては天下の大變と自分の弟初め市三郎らに異見を加へ一方金五郎には市三郎らに詫びをさせ事を圓滿に治めたこれで金五郎の名はます〳〵高くなつたが更に全國にひゞかす樣な大働きをした。

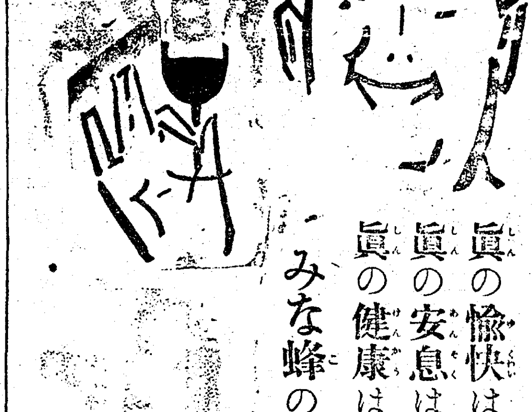
スター好
中形
粋な
手中
着尺モスリン
本場カヤ
平 龜田屋 電五七

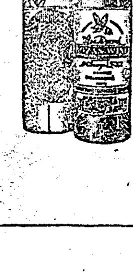
診療開始
外科 花柳病科 專門
木村外科醫院
平町六丁目橋際（元〇久材木店跡） 電話三〇九番
入院自炊ノ便アリ

食用鳩（カルノー ホワイトキング シルバーキング）
ブリユウセキセイインコ オカメインコ
アカボタンインコ カルカヤインコ
ダルマインコ 小紋鳥
一紅鳥 錦花鳥
白文鳥 白十姉妹
脊ノコリ小斑
平町田町本通り
ベニヤ小鳥店

大岡政談
夏期謝恩大興行 例年の通り舊盆まで
◆新版第一編 日活超特作・監督伊藤大輔 主演大河內傳次郎一人二役◆
椿姫
本邦映畫界最高權威者の結合に依り日本映畫藝術終極の殿堂を確立すと敢て誇り得らるゝ大作品…若人よ!!よし小デユーマの名は知らずとも椿姫は知らざるべからず……
主演 夏川靜江、高木永二 東坊城恭長、三桝豊
◇日活特作品 故尾上松之助丈遺寶
町人天下
監督……築山光吉
片岡松燕、中村吉十郎 片岡長正、實川延一郎
料金改定
普通席 金十錢
壹等席 金參十錢
特等席 金五十錢
土日曜學生デー
高級常設 平館 電（四六六）

◆謝恩接待◆
ウーロン冷茶
營業五週年紀念
丸昇軒食堂 （電四三九番）





蜂ブドー酒
眞の愉快は？
眞の安息は？
眞の健康は？
みな蜂の一杯から……
『蜂印香竄葡萄酒』といふ名稱を皆樣のお親しみに依り今後『蜂ブドー酒』と改めます 尚市場にある從來のものは其儘として追々に『蜂ブドー酒』と改めます
發賣元 近藤利兵衛商店

改正 片濱乘合自動車時間表

平發	江名發
五時三十分	五時三十分
六時三十分	七時
八時	七時五十分
九時	九時二十分
十時	十時三十分
十一時	十一時五十分
十二時三十分	一時
一時五十分	二時
三時	三時三十分
四時	四時四十分
五時二十分	五時四十分
六時三十分	六時四十分

平のりば 四丁目和泉屋前 新川町車庫
江名のりば 沖見屋 電話十四番 松屋
鈴木片濱自動車部 電話二一七 車庫呼出電話一四二

內科 小兒科 皮膚科 花柳科
平町舊城跡（城山）
青沼醫院
醫學士 青沼淡夫
電話四〇三番

貸地廣告
平町郡役所より税務署附近の新開地に一千餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絶對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極ぐ安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり葉けば社員が御伺ひして親しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社
平出張所 電話六〇三番 五四一番

理髪業者組合が優良徒弟を表彰
本日小名濱學校で 平管内組合總會

石城郡理髪業者組合總會は廿五日午前九時から小名濱町小學校講堂に於いて開會收支決算報告其の他協議あり正午閉會した、尚平理髪業組合の優良徒弟として左記の者は猪狩平警察署長から表彰された

△第一部 平町驛前木村由三郎方助手板本豊勝(一九)同宮川幸吉方徒弟石井末吉(二一)一丁目平塚イク方徒弟平塚フミ(二三)同銀治町加藤卯之助方加藤保(二二)田町石崎幸一方上京幸太郎(二二)同佐藤長平(二二)四丁目高木貞雄方平子敏幸(二〇)同遠藤加雄(二〇)南町大谷末治方井上榮市(一九)

△第二部 湯本町字八仙渡邊ハル方小泉勝爺(二二)同石畑中山クマ方中野キン(二〇)磐崎村藤原佐川松太郎方伊藤一郎(二〇)同藤原小松モト方豊田ヤヱ(二〇)

△第三部 小名濱町本町上遠野利吉方本田久雄(二二)同町下明神渡邊忠太方古川冬三(二九)同町下町新妻末吉方新妻光吉(二〇)江名町南町坂本龜吉方坂本チヨノ(二九)字北町中原マサ方水竹武(二二)豊間村薄磯櫛田仙吉方遠藤タマ子(二一)

△第四部 内郷村大字宮平與作方平末二(二二)

△第六部 赤井村高萩關谷莊藏方關谷イチノ(二〇)同西小川片寄崎充方山川一(二〇)以上

昨年度と大差ない 夏秋蠶掃立豫想
或は一萬七千を突破か 第一回調査

本郡地方の夏秋蠶は桑園も蕊止玉蟲、發生等に災され桑葉の發育不良の爲め一般に悲觀されてゐるが郡養蠶組合が調査中の掃立枚數は前年度の一萬六千七百六十四枚と殆んど大差ない模樣で或は一萬七千枚以上に達するものと豫想されてゐるが此の不況の折柄夏秋蠶の掃立枚數增加は一見奇現象と見られるが此れは今春蠶に相當の違蠶等があり更に春繭安等の理由から夏秋蠶高を見越して一面春蠶の違蠶を補充等の理由から郡下當業者が手を擴げたものと想はれる夏秋蠶の出廻りは既報した如く石城販賣利用組合の四倉市場が開場する八月廿七日頃ろから九月下旬まで出廻りの最盛期は九月四、五日頃ろから十日前後にかけるものと豫想されてゐる

美妙なメロデー 夏虫の聲は
涼臺になくてならぬ景物 口説をこめた虫の戀物語

夏の夕べ可憐な虫の奏でる音樂は詩趣溢るゝばかり他に類なき清涼味を添へます何時までもちつときゝ惚れてゐたい、美妙なメロデーは夏の夜の涼み臺に無くてはならぬ虫の音樂です、今是等虫の種類をあげると

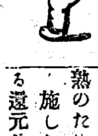
クリイイ　クリイイ　クリイイはコホ蟀さん　ガチャ〜〜は轡虫さん　リイン〜〜は鈴虫、ギーウチヨン〜〜螽蟖　チンチロリン〜〜は松虫さん　スーイチヨン〜〜は馬追虫

けれどもこれ等多くの鳴く虫達は夏の涼みどころか雄が雌を戀し冷靜且無表情に驅られて翅を摺り合せて奏でる火のやうな口說その唄なのです。

其の中でも一般の虫と違つて聲樂に似てゐる、閻魔蟋蟀の唄は獨唱のやうに高い音を出しますが、非常な嫉妬屋さんで其の形が大きく氣が荒いだけ口喧に物凄い場面をわがき出すのであります、初め二匹の雄が瓶へ入れおきますと非常な大聲でコーロ、コロコーロと雌を招き寄せようと呼んでをりますところが其處へ一匹の雌を入れてやりますと不思議にも急に音樂は調子がひくゝなつて細い聲でコロコロリイーといかにも哀れぽく鳴きます。此の時籠の中を見るならば一匹の雄が尻を雌の頭の方へむけ翅を斜めに持ちあげてしきりに哀願し雌の歡心を買はうと苦心してゐます。

併し今度は他の一匹の雄が默つてゐません、如何にも腹立たしさうに先に雌に衝きかゝつて行つてたつぱらい自分が雌の御機嫌を伺を始めます。其しては　い嫉妬の爭ひが演じられ繰返される時には頭を兩方で突き合せ顎で嚙み合つてシユウ、シユウーと翅音を立てゝ露骨な戀の戰ひが始まります、けれども雌を御覧なさい——可愛相にも傷手を負ふて戰ふ二匹の雄の傍で冷然と構へてどこを風がふくといふやうな空々しい態度でゐます、女尊の世界——女性優越の國である虫の世界では雄は全くむごたらしいものです、其の中いづれかのオスが逃出して勝利者は再び戀の招きを始めます、然し敗走者が元氣づいてくるとまた爭ひをかつてきて決し、簡單に思ひ切りません、はげしく相爭ひ敵のすきを見ては盜んにめす御機嫌をとる小さな二匹の蟋蟀のオス冷たい〜〜心超然と落ち着き拂つて大柄な蟋蟀のめす——蟋蟀の三角關係——氣儘で尊大ぶつた女王樣はうらやましい限りです。それから少し絶賢い蟋ぎりすの若者はさつさと自分一人石の下へ入つて盛んにメスか呼ぶ歌を唄ひます、それでもメスがきてくれないと隱れ家から這ひ出してメスのそばへ行つて鳴き再び元の石の下に歸つてメスを呼びます。さういふ時女王樣は知らん振してすゞしい顏をしてゐることもありますが、又突然思ひ出したやうに石の下へ入り込んで行く事があります。勿論自分が誘ふものがこうあることを知ると戀の競爭者逹音樂を聽いたり姿を見たりしてからのこ〜〜と氣に入つた方へ歩みを始めます。

キリギリスのた嫁入り——なんとローマンチツクな空想でせう。精一杯の誘惑にも冷やかだつた女王樣はお嫁さんとなるにあたつては冷やかです。夏の夜の虫の戀物語り……さう思つて聽く虫の音樂、言ひ知れぬ哀愁にとらはれます。



疲弊の極に達した 農村救濟の對策
低利資金と副業奬勵 大山技師語る

近來米價並に繭價の低落に基き當地方の一般農村殊に自作農小作農階級の疲弊困憊は其の極に達してゐるが郡農會當局では此れが唯一の救濟手段として殆んど全力を擧げて農村の副業奬勵に努めてゐるが現下全くドン底にある財界不況の結果養鶏養兎等の副業に依る收益も思はしくな　其の窮狀は目も當てられないが此れに就いて郡農會大山技師は

「目下の疲弊せる農村狀態に鑑みた政府當局でも非常に苦慮してゐる樣子ですが先ず此の疲弊狀態を救濟する唯一のもの其れは自作農維持と具體的方策としては最低利資金の潤澤な供給以外にはないでせう郡農會當局として出來得るだけ農村現下の窮狀を救濟すべく全ゆる方策を講じては居りますが何んと言つても政府の農村救濟案が實現されない以上は滿足な結果は見る事が出來ません、然し一般農村としては政府の低利資金融通が潤澤でないにしても從來に一層の努力を以つて當たれば米價繭價の低落は必らず埋合せが出來るでせうし更らに副業の方面の如き研究を進めれば如何程不況だと言つても其れ程悲觀する事はないでせう」云々と語つてゐた

青訓主事協議
昨日磐中で開催

石城郡各町村における青年訓練所はその二三を除いては從來內外共に非常な發達を來たしてゐるが不振の訓練所も少くないのでこれが事務に關し各町村青年訓練所主事は二十四日磐城中學校において種々打合せる所があつた

寂しい演說會
聽衆僅に數十名

石城郡植田町にける電燈料金ね下演說會は廿三日午後二時から菊世座にて開會したが聽衆九六十名に過ぎず中には十錢の入場料を徵せられ不機嫌の向も少からず四時散會した

でたらめの密告に
平署の森刑事 噴慨の卷

昨廿四日夜平警察署に「今才槌小路の〇〇方で二十餘名が車座となつて大賭博を開張中」との密告があつたので居合せた森刑事を先頭に當直の警官數名が直ちに現場に駈付けたが賭博どころか〇〇方では主人夫婦カヤの中で大の字になつて寢込んでゐたので最初の意氣込みも何處へやらすご〜〜本署に引上げたがつまらない密告をするやつもあるものだとブン〜〜憤慨してゐた

變調な天候で 小兒の感冒流行
原因は寢冷ねから 天候も二三日中に回復

梅雨明けと同時に急激な暑熱に襲はれた當地方は暑い暑の土用に入つてからバツタリ暑熱が止んで殆んど梅雨時の樣なジメ〜〜した天候が續いてゐるが此の變調な天候が續いてゐる結果當地方には恐ろしい勢で感冒が流行し始め殊に幼兒の患者が激增してゐるが目下腸チブス其の他傳染性の惡疫豫防に努めてゐる平町衛生課では「今流行してゐる感冒は此の前に流行した樣な惡性なものではなく危險率も少いが而し小兒の患者は非常に多く餘り發熱はしないが咽喉を害される樣な結果食事が出來ない樣なことにでもなると困るから充分注意せねばならない原因は寢冷から來るので、暑いからと言つてこんな天氣の際水泳をしたり薄着で就寢してはいけない幸いに惡疫も目下の處では幾分終熄した形だが此れも一層の注意を拂つて欲しい」云々と語つてゐたが小名濱測候所の觀測では此處二、三日中には此の變調な天候も全く回復するらしいと

新映畫

ユナイテツド映畫「サーカス」封切
チヤプリン原作監督主演

チヤーリーは仕事がなくてブラ〜〜して居た、サーカスの近所へ來て拘摸の仲間と間違へられてサーカスに逃げ込んだ、そしてサーカス團長の娘と懇になつた、そこへ若い美男子の曲馬師が現はれた、若い娘は何時しか其の曲馬師とねんごろになつた、チヤリーはやるせない思ひなじつとこらへて娘と曲馬師と一緒にした、サーカス團が他の町へ移つて行く時にチヤーリーは獨り後に殘つて、ありし昔を偲んだ。

映畫俳優の元勳 關根達發死す
三月二十一日谷中で葬儀執行

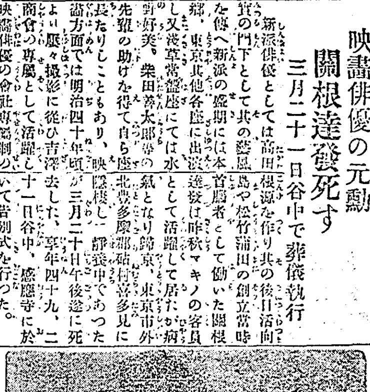
新派俳優としては高田實の門下として其の藝風を傳へ新派の盛期には本郷、東京其他各座に出演し又淺草常盤座にては水野好美、柴田善太郎等の先輩の助けを得て自ら座長たりしこともあり、映畫方面では明治四十年頃より屢々撮影に從ひ吉澤商會の專屬として活躍し映畫俳優の會社專屬制の根源を作り其の後日活向島や松竹蒲田の創立當時首腦者として働いた關根達發は昨秋マキノの客員として活躍して居たが病氣となり歸京、東京市外北多摩郡砧村喜多見に隱棲し靜養中であつたが三月二十日午後遂に死去した、享年四十九、二十一日谷中、感應寺に於いて告別式を行つた。

「怪兒又」封切

マキノ映畫、市川右之助主演逆繩時代映畫「怪兒又五郎」は第四篇は完成され四月中旬大勝館で封切されるといふ。

マキノ映畫「三つの花」

マキノの鈴木重吉監督は吉屋信子女史原作「三つの花」を淺明子、都賀靜子、花柳悅子、三保松子、瀬川つる子、英さゝる、星月英案出演にて撮影中、先頭は東京へロケーシヨンなする等大童で撮影を進行して居るから近々完成する筈である。



パラマウント映畫「上海目指して」

東北豫選に 磐中出場
一回戰は不戰 二回戰は福中

朝日新聞主催全國中等學校野球大會東北豫選に今年出場する磐中野球部では東北豫選抽籤の結果不戰一勝と決定第二回戰は優勝候補と目されてゐる福島中學と對戰に決定發表されたので目下引續いて元磐中選手石坂君其の他コーチの下に白熱的猛練習を續けてゐるが投手小林君は增々好調で以下各選手の當りも物凄いものがあるから廿九日仙臺市に於いて福中との對戰には相當の成績を示すものと豫想されてゐる

水稻の枯死は 未熟堆肥の爲
炭礦の鉛毒被害と見て大問題 高萩の稻害原因

石城郡赤井村の高萩地內約三町歩の水稻が數日來赤かつ色に變じ漸次枯死の狀態に陷るので耕作者の驚き一方ならず之れを炭礦の鑛毒被害と即斷し同村福島炭礦に苦情を持込み一と悶著じや起せんとしたが鈴木郡農技手の調査によつて田植に先立ち紫雲英及び苅敷等未熟のため肥を多量に土壤深く施したそれが土中に於ける還元分解によつて生ずる有毒物の爲め根部から腐つて萎縮しつゝあるものと判り善後策として土壤の上下を反轉し下層の部分を表面に出だして一反步當り卅貫目位の石灰を撒布せしめたが尙同技手は語る「未熟の堆肥を外量に埋めて一番除草に表面のみを搔き均らしたのでは土中の綠肥類即ち有機質の還元分解で水素ガスやメタンガスの有毒物が發生する之れを鑛毒と思ふのは誤りで天候がよくて溫度が高いほど一層分解作用が激しくなる爲に腐敗臭氣が鼻をついてゐるそれを鑛毒被害なら上部から腐れを受ける筈だが深い部分の根が腐つて表面の細根で稻草が辛うじて生きてゐるので前記の善後策で大抵回復されると思ふが全然見込のないのが一反步位はあるだらう」と

鑛業稅を筆頭に 滯納稅七萬餘圓
依然不振な地方財界 稅務當局手古摺

金融界の不振から各種稅金の滯納は非常に多額に上つてゐる平稅務署の窓口から見た滯納總額は約七萬圓に達してゐる、この筆頭に數へられるものは鑛業稅の二萬圓、次いで地稅、營業收益稅、所得稅等の順であるが鑛業稅の如き多額の滯納があるといふ事は如何に常磐炭礦界が不況に陷つてゐるかを如實に物語つてゐる右の如き多額の滯納のため目下平稅務署では所員を督勵して整理に勉めてゐるが殆んどその効がなく當局者は頭痛を病んでゐる

十二神將 三回鑄造
來る廿九日

赤井嶽藥師十二神將奉獻會では來る廿九日第三回の御尊體鑄造式を擧行する筈である

青年鮫川清遊 平町

二丁目青年分團は二十五日植田町鮫川に清遊を試み地曳網その他の催しに一日の歡をつくして夕刻歸平した

今日の溫度と 明日の天候

小名濱測候所發表 本日正午の溫度は五十四度四分 明日の天候は曇り時々晴れ

平町地方で最近 小鳥類の濫獵
先から罰金を覺悟で 平署嚴重に取締

本郡は山、水何れにも富み鳥類の棲息に適してゐるので其の期には多くの狩獵家が出で平署管內のみでも二百數十名の天狗を出してゐるが最近鶯その他の愛禽熱から各地に小鳥類の濫獲及び密獵は勿論、鶯、しじうから、やまがら、こがら等の保護鳥並に雛卵を捕獲する者多く昨年度中における狩獵法違反中右に該當する者の檢擧卅餘件に上つてをりこれら違反者は捕獲の上飼ひ慣らし高價に密賣するを專門にしてをるが昨今鶯の上物などは千圓以上の値を呼んでをる有樣に檢擧されて三百圓以下の罰金を出しても損はしないといふので小鳥熱の旺盛と共に盛にばつこする傾向なので鳥類繁殖上捨て置けず愈々近く一齊にこれら不正者を嚴重取締ることに決し目下平署で手配調査中

平町の競馬場 出願書却下
組合を閑却したその理由で

石城郡平町の町會議員や有志家逹十四名が馬目雄次郎氏を代表者として競馬場設置の件を認可申請中のところ右は競馬規則第四條附則に違反し且畜産組合の組織ある地でその組合を閑却することは法の認めざるところとするものであるといふ二大理由によつて出願書類全部は二十四日却下された

司法官の大異動
窪田、遠藤 石坂三氏榮轉

全國に亘る司法官の大異動に伴ひ平檢事局上席檢事窪田德次郎氏は若松區檢事局上席檢事に榮轉し後任は宮城縣古川檢事局の上席武田淸次郎氏と決定更らに豫審判事遠藤周藏氏は福島地方裁判所豫審判事に榮轉後任は白河判事中谷爲吉氏、又區判事石坂方平氏は盛岡縣遠野區兼盛岡地方支部の豫審係へ榮轉後任は青森地方裁判所判事高橋涉氏と決定各々昨廿四日決定發表を見たが若松區の上席檢事へ榮轉した窪田檢事は茨城縣下館から平に榮轉後僅一年二ヶ月餘で氏の榮轉を見たのであるが其の間疑獄の大事件白水五人殺を始め炭礦爭議の爭擾事件等の大事件を審理暴力行爲の徹底的掃蕩に努力した一面溫情判官として知られてゐただけに同檢事の榮轉は地方から頗る惜まれてゐる

珍妙集 石城

平町材木町に欣淨寺と大杉稻荷神社とが脊中合せに溝一本を距てゝ鎮座まし〜〜てゐる、それに何の不思議もないが茲に珍妙奇拔なのは欣淨寺の若い僧さんが毎朝必らずボコ〜〜〜〜と木魚を叩いて朝のお勤をする、一ト通りお經を讀み上げジアヤーンと最後の鐘を叩いてお勤が濟むと水色の褪た紫の袈裟を掛けた若い僧侶は其の足で庫裡へも寄らず眞つ直ぐに大杉稻荷神社に推參し、御殿を開帳したと思ふと今度はドン〜〜と大きな太鼓を打ち鳴らし不動流の聲を張り上げて祝詞をとげほか……な咳拂ひをしながら衣の袖を引きずつて庫裡に歸る、近頃はやる人物經濟が神佛混淆か、兎も角も珍奇の一つ。

社告

營業部員　一名

廿歲以上卅五歲以下の活動家を至急募集す

本人履歷書持參午前中來談あれ

磐城新聞社